

ひので映画大使最新版

[2018年1月9日]

第86回映画大使「8年越しの花嫁 奇跡の実話」

- ・ 期日 平成29年12月26日(火曜日) ※公開2週目
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品介绍

YouTube動画をきっかけに、多くのメディアに取り上げられ話題となり「8年越しの花嫁 キミの目が覚めたなら」のタイトルで書籍化もされた実話を、『64-ロクヨン-』の瀬々敬久監督が映画化した奇跡のラブストーリー。

脚本は『いま、会いにゆきます』の岡田恵和が担当し、主演は尚志役を『るろうに剣心』の佐藤健が、麻衣役を『青空エール』の土屋太鳳が力演した。その他、杉本哲太、薬師丸ひろ子、北村一輝など豪華キャストが脇をかためている。

結婚を約束し幸せの絶頂にいた20代のカップル・尚志と麻衣。しかし結婚式の8カ月前、麻衣が原因不明の病に倒れ昏睡状態に陥ってしまう。病で昏睡(こんすい)状態に陥り、回復するも相手の記憶をなくした麻衣と、それでも彼女を愛し続けた尚志のおよそ8年の軌跡を二人に迫るタッチで描きだす。



(C) 2017映画「8年越しの花嫁」製作委員会

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ★ 感動する事が多いとても良い作品でしたね！
- ★ 理屈なしにただ綺麗な作品だったと思います。
- ★ 素晴らしい作品であったと思います。
- ★ 爽やかな作品であったと思いますね！
- ★ 泣かないで観る人がいないのではないかとと思うほど感動しましたね！
- ★ とても心地の良い作品でしたね！
- ★ 佐藤健さんがかっこいいと思いました！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

実話をもとにしたという事でしたが、麻衣さんが倒れた後の尚志さんの優しさが最初の方は、淡々と描かれていましたが、ある出来事をきっかけに感動が押し寄せてくるような作り方になっていました。

麻衣さんが持っていた携帯電話が今のスマートフォンではなく、古くて懐かしいなと思いましたね。

薬師丸ひろ子さんのお母さん役は、お母さんの気持ちが凄く出ていましたし、家族にしかわからない事などもあり、凄く考えさせられましたね。

私は、昔から佐藤健さんのファンでしたので、その点でもこの作品を観られて良かったです。

Bさん

佐藤健さんはカッコいいなと思いましたし、演技も淡々としていて良かったですね。

私が感動したシーンは、結婚式で扉が開いたところでした。

土屋太鳳さんが演じる麻衣さんが、最初美しかったのが、病気をして病気の顔になったのが、病気が良くなるとともに表情も豊かになって元の綺麗な顔に戻って良かったな、と思いましたね。

薬師丸ひろ子さんが演じるお母さんの行動にお母さんの意気込みを感じました。

感動する事が多いとても良い作品でしたね。

Cさん

理屈なしにただ綺麗な作品だったと思います。

登場人物も全てがいい人で、文句のつけようの無い人たちでしたね。こんな事が現実にあるのかなと思うくらいでした。今のすさんだ世の中で、このような話が存在するのかなと思うくらいに観ていて文句のつけようの無いくらい純粋で、私も久しぶりに綺麗な涙を流させていただきました。

本当に良い作品でした。

Dさん

素晴らしい作品であったと思います。

やはり実話でなければこのような物語は出来ないのではないかと考えたのではこのストーリーを作るのは難しいのではないのかなと思いつつ観ていました。それぞれのシーンを観ていまして作った話では、なかなか描く事の出来ない話であると感じましたね。

昨年、私は瀬戸内の方に行きまして、中国やまなみ街道を走ってきましたが、この作品も瀬戸内海の景色が綺麗だなとも思いつつ観ていました。

薬師丸ひろ子さんは、私は『セーラー服と機関銃』などを観ていましたので、その印象もあるのですが『ALWAYS 三丁目の夕日』ではお母さん役をされていて、この作品も含めてお母さん役が板についてきたなと感じましたね。いずれ土屋太鳳さんも、そのようになるのかなとも思っていました。

佐藤健さんは、テレビドラマの「天皇の料理番」に出演されているのを観ていましたが、ひたむきに頑張る姿が似合う人だなと思います。

土屋太鳳さんは、演技が上手だったなと思いましたね。日本アカデミーショーにもノミネートされるのではないかなと思うくらいでした。

私の奥さんと娘もこの作品を観たいと言っていましたね。

Eさん

爽やかな作品であったと思います。

この作品を観まして、人間の脳の働きは凄く不思議だなと思いましたし、人間は不思議だなと思いましたね。

お互いにまた愛し合う事ができて結婚できて、良い話であったと思いました。

実際にこのような事があるのだなと思いましたし、これが実話でなく作られた物語であれば、もっとあまい話になっていたのではないかと思いますので、この作品は良い作品だったと思います。

Fさん

本当にこんな奇跡があったのかと思いました。

尚志さんもぶれずに、想いをずっと8年間も忍耐強く持ち続け、麻衣さんを信じて励ましながら歩んできた事に凄く感動しましたね。

最初から二人は、お互いを思いやる事のできる二人だったのだなとも思いました。

ご両親も会社の同僚も良い人で、全て恵まれている環境で生きられるという事は、凄い事であると思いましたね。皆が応援している中で居られる事は凄いなとも思いましたし、ご両親のあたたかさが私自身も優しさや勇気をもたらせる事ができた感動した作品でした。

泣かないで観る人がいないのではないと思うほど感動しましたね。

Gさん

今日この作品を観る事ができて良かったなと思いました。

俳優の方が皆、イメージがピッタリの役を演じており、見事な役作りでしたし、メイクアップも凄くて何時間かかったのだろうと思うほどでしたね。病気の事もよく研究されていて、違和感の無いように仕上げていく監督も凄い方なのだなとも思いましたね。病気のシーンの演技も素晴らしかったと思います。

二人の深い愛情があつての結末は良かったですね。

佐藤健さんのような爽やかな青年は画面を明るくするし、いいなと思いました。

とても心地の良い作品でしたね。

Hさん

とても良い素敵な作品だったと思いました。

脚本がテレビドラマの「ひよっこ」や「ちゅらさん」の岡田恵和さんでしたよね。きっと実話を脚本されたので凄く大変だったのではないかと思います。

私は、岡田さんの作品が凄く好きでして、悪い人は描かないで全ていい人、癖はあるけれども味のある人といういい描き方をしてくる方ですので観ていて凄く心地良かったですね。

ストーリーとしましては、中盤まで淡々と進んでいって、麻衣が抱えている秘密がわかった後ぐっと話が展開していくのですが、その場所がここだとわかりました。

若い人の観る作品かなと思っていましたが、誰が観ても心があたたかくなる作品でしたね。

そして、佐藤健さんがカッコいいと思いました。

Iさん

私も佐藤健さんが好きで、土屋太鳳さんがさらに好きで、北村一輝さんはもっと好きでしてこの作品を今日観る事が出来て良かったです。

役者の方が凄いなと思ったのは、この人はこのような人なのだ、このような性格なのだと思込ませるだけの演技の力がある事ですね。実際にそうなるくらいストイックに役作りをしていらっしゃるのだと思いますし、根もいい人なのだろうなと思いますが。特に土屋太鳳さんの役に対する姿勢は衝撃的でしたし、女優魂を感じましたね。ダンスもお上手ですし、何に対しても凄くできる方なのだなと思いました。

いろいろな事ではありますが、尚志さんが麻衣さんを思い続けて行った事が実を結んだのですが、これが小説ではなく実話という事が凄く面白いなと思いましたね。一般の人の話なのですが、登場される人それぞれにドラマがあって、一人1人が違う人生を生きているのだなという事に想いが至りましたね。

この作品を観ていまして、過去の同じような境遇の作品を思い出したりしまして、また涙しましたね。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

・尚志さんは心がナイーブで、優しかったのかなと思いましたね。

・尚志さんがあまり語らなかった事が良かったなと思いましたね。

- ・お母さんの心や尚志さんの心が素直に入ってきましたね。
- ・素敵な人のところへは素敵な人が集まるものだなと思いましたね。
- ・配役の良さが見事でしたね。

まとめ

事実は小説よりも奇なりという言葉もあるように、この作品は実話を映画化したものですが、まさに小説では書く事のできない展開が描かれていました。大使の方からも、それぞれの登場人物の想いや心がよく理解できるというお話がありましたが、それも実話だからこそその事かと思われれます。

そして、原作も素晴らしいですが、前半のシーンで問題定義した事を後半でなぜ解きをしていくように作品を観終わった後に一つのパズルが完成するような演出や、前半スローなペースで進めたものがあるきっかけを境に物語の展開を加速させるなどの演出も素晴らしいと思います。

また、脚本もヒット作を多く世に送り出した実力を活かし、実話という高いハードルを越してさらに物語をバージョンアップしていると感じました。

若い方はもちろん、年齢の高めの方も観終わった後には清々しい気持ちになれると思います。

涙を流したい方には特におすすめの作品になっています。

劇場の大スクリーンで是非、ご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- ・ [これまでのひので映画大使](#)
- ・ [ひので映画大使のトップに戻る](#)

ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

送信

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)